



いきいき通信 135号（平成28年6月号）

iki iki - tushin

Take Free!

まずは10年間の振り返り。第2, 3回「水源の里を考える会」開催

平成19年、全国に先駆け「水源の里条例」を制定してから今年で10年になります。次の水源の里事業の展開を模索する「水源の里を考える会」の第2回、第3回会議がそれぞれ5月、6月に綾部市観光センター（中上林）で開催されました。

5月20日（金）の第2回会議では、水源の里の10年間の活動をまとめた「水源の里白書」と水源の里14集落332名から得たアンケート結果を中心に、これまでの取り組みを振り返りました。

協議の中では、「医療免許を持った人とか商店をやりたいとか必要とされる人材を逆指名し移住してもらっては。」「交通網充実で通勤圏は広まっている。若い人が出ていかないよう、学校を呼ぶことは無理でもキャンパスぐらいなら。」といった、定住等に関する意見がありました。

また、「各集落にある財を綾部全体でどう活かすか。例えば、あやべ温泉で、単に温泉だけでなく近くにはこんな物・場所があることを伝えれば反応があるかもしれない。太鼓を叩く体験料をもらうという発想もあってもよい。綾部発のツアー商品を作るとか、地域にお金が落ちる仕掛けが必要。」「外から魅力を感じて入ってきた人に意見を聞いては。」「お金や時間の面での田舎暮らしの負担軽減も、上林として3連合会が連携して広い視点で考えていべき。」といった新しい視点での意見が出たほか、「10年前には『10年遅い』と言ったが、年齢は関係ない、やる気があるかどうか。」といった意見も出されました。

6月17日（金）の第3回会議では、第2回の協議内容を受け、①UIターン者の受け入れ、次世代の育成、②人が少ないから静か、などマイナスと捉えられる要素をいかにしてプラスにしていくか、③更なる高齢化と世話役の負担軽減のための連携・効率化、などを柱に議論されました。

「経済的、時間的に余裕のある定年後世代なら、15年くらいは取り組みに参加してもらえるのでは。」といった意見や、「Iターンの人が創作活動だけでなく、地域の出役なども積極的に出てきてくれる。」など、特にUIターンに関する意見が活発に出されたほか、「いかに若い人の生活を支えるかも大事。それには行政の支援も必要」といった意見も出されました。



水源の里集落から23名（うち女性4名）が参加

二王公園まつり、ほたるの夕べ、今年も大盛況

6月5日（日）、第21回「二王公園まつり」が開催されました。同時開催の「第22回二王公園レース」来場者と併せ約2,800名が参加。過去2番目の多さとなる971名がレースに申し込み、沿道からは多くの声援が聞こえました。

二王公園まつり開会に先立ち、今年度から副市長に就任した奥上林故屋岡町出身の山崎清吾副市長の挨拶があり、「今年は森の京都、全国育樹祭などさまざまなイベントが開催されるほか、京都府北部で唯一の国宝である二王門修復に向けた実行委員会が本年度組織された。こうした状況を追い風に、多くの方々が訪れ住んでいただけるよう全国に発信していきたい。」と述べました。模擬店では水源の里集落の特産品のほか、各集落などによる上林グルメが販売され、参加者のお腹を満たしていました。

翌週の6月11日（土）には「ほたるの夕べ」が開催。観光センターに、市内外から約2,000名の来場者がありました。

午後5時スタートのコンサートには8グループが出演。午後7時から山崎市長、安藤議長、四方府議ら来賓の挨拶と紹介があったのち、山崎市長と渡辺連長によるデュエット曲が披露されました。

中上林では、8月には新たな音楽イベントが予定されています。



二王公園まつり開会の挨拶を述べる山崎副市長



Y & NGS6（山崎市長、渡辺連長）によるステージ

ますますの充実を見せた水源の里「春の交流事業」

●5月22日(日)、水源の里・草壁で開催された「どろんこ田植え体験」には、神戸、西宮、箕面など、集落外からの参加者21名を含む約40名が参加。快晴の空の下、手植えで田植え体験をしました。2歳児から小学生までの子ども達も参加。初めてふれる泥の感触に歓声をあげていました。

お昼には草壁産の米や野菜を使ったおにぎりやお漬物、サラダの他に、季節感あふれる朴葉飯などを楽しみました。

【告知】今回植え付けたもち米を、手刈りで刈取、稲木干しにします。

実施は10月8日(土)の予定です。是非ご参加ください。



「どろんこ田植え体験」(草壁)

●5月28日(土)、水源の里・古屋にて、「古屋でがんばろう会」のメンバーとともに、「栃の木周辺整理、マキ作り作業」が実施されました。

自治会所有の山林で、栃の木の近くで大きくなった雑木等を切り倒して見通しを良くする作業のほか、栃の実を加工する際、アクを取り除くために必要となる灰の原料となるクヌギの切り出しなどを行いました。

【告知】6月25日(土)～26日(日)の「栃の木調査」(詳細下記)のほか、

7月23日には「山内環境整備・登山道整備」が予定(詳細未定)されています。(募集情報は「あやべ水源の里」をご覧ください)



「栃の木周辺整理」(古屋)

●6月12日(日)、水源の里・鳥垣で「国定公園指定記念 シデ山登山会」が開催されました。綾部市内や舞鶴、豊中などから集まった30名の参加者は、水源の里・鳥垣代表の桜井氏の案内のもと、「中級者向けコース」であるシデ山を歩き、珍しい樹木や山野草を観察するなどし、初夏の上林を味わいました。



「シデ山登山」(鳥垣)

水源の里のイベントに参加してみませんか？

募集

水源の里・古屋

水源の里・古屋で実施される「栃の木調査」の参加者を募集しています。年に一度の貴重な機会。2日続けてのご参加の場合は、宿泊も可。25日(土)の夜にはほたる鑑賞会も計画されています。国定公園の中に入れる貴重な機会です。是非ご参加ください。

【日 時】平成28年6月25日(土)～26日(日) 10:00集合【両日とも】

【集合場所】古屋公民館(京都府綾部市睦寄町古屋)

【持ち物】山歩きに十分な服装、靴、装備、雨具必携(少雨決行)、【宿泊者のみ】宿泊用具、洗面具等

【参加料】参加料、宿泊無料。ただし、25日の夕食は700円、26日昼食は300円で、ご希望に応じてご用意できます。

【お申込先】下記連絡先まで、お申込者氏名、郵便番号、住所、電話番号をお伝えください。

●上林いきいきセンター TEL. 0773-54-0095 FAX. 0773-54-0096

水源の里・市志

水源の里・市志では「子どものための森林学習教室」の参加者を募集しています。小学生～中学生程度でしたらどなたでも参加可能です。先着15名ですので、お早目にお申し込みください。

【日 時】平成28年8月6日(土) 9:30集合(10:00開始)

【集合場所】市志公民館(京都府綾部市五泉町宮ノ腰24)

【持ち物】長袖、長ズボン、手袋、運動靴、雨具、着替え等

【参加料】1,000円(昼食、保険料込み)

【お申込先】下記連絡先まで、お申込者、同行者の氏名、郵便番号、住所、電話番号をお伝えください。

●水源の里・市志(阪田 薫) TEL.090-7365-9602

●上林いきいきセンター

TEL. 0773-54-0095 FAX. 0773-54-0096



会場「どんぐりの森」では昆虫採取も